製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 GFオルトランC
整理番号 SCE1011-11110

会社名 住友化学園芸株式会社
住所 〒103-0016　東京都中央区日本橋小網町1番8号
担当部門 研究開発部
電話番号 03-3660-8015
ＦＡＸ番号 03-3660-8002

奨励用途および使用上の制限
奨励用途　：農薬
使用上の制限：情報なし

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類できない
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない

	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分１（中枢神経系、腎臓、全身毒性） 区分３（気道刺激性、麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分２（血管、脾臓、肝臓）
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分２
	水生環境慢性有害性	分類できない
	オゾン層への影響	分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示



注意喚起語　危険

危険有害性情報

・中枢神経系、腎臓の障害（経口）および全身毒性（吸入）

・呼吸器への刺激のおそれ、眠気およびめまいのおそれ

・長期または反復ばく露による血管、脾臓、肝臓の障害のおそれ

・水生生物に有害

注意書き

予防策

・エアゾール／ガス／蒸気を吸入しないこと。

・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

・必要な時以外は環境への放出を避けること。

・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

・取扱い後はや手をよく洗うこと。

対応

・暴露した場合：医師に連絡すること。

・気分が悪い時は、医師に連絡し、診断・手当を受けること。

・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

・スプレー缶は換気のよい場所に、施錠して保管すること。

廃棄

・内容物および容器は国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って適切に廃棄すること。

ＧＨＳ分類に該当しない他の危険有害性　容器を高温に曝すと破裂、火災を起こすおそれがある。
皮膚、粘膜に直接噴霧すると炎症や凍傷を起こすおそれがある。

重要な徴候　呼吸器への刺激、眠気およびめまい

想定される非常事態の概要　噴射剤の蒸気は低く遠くへ流れ、危険範囲が広がり、風下の遠い火源からも引火することがある。
閉鎖された狭い空間で大量に使用すると噴射剤ガスが滞留し、窒息するおそれがある。

国／地域情報　有効成分（アセフェート、ＭＥＰ、トリホリン）：農薬取締法
溶剤（メチルプロピレングリコール）：
消防法危険物第４類引火性液体、第二石油類水溶性液体、
労働安全衛生法 危険物引火性のもの（高引火点）、
第５７条の２ 通知対象物質
溶剤（イソプロピルアルコール）
消防法第４類引火性液体、アルコール類
労働安全衛生法 危険物引火性のもの（高引火点）、
第５７条の２ 通知対象物質
噴射剤（ジメチルエーテル）：高圧ガス保安法：可燃性ガス

３．組成および成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名または一般名（不純物及び安定化添加物を含む）	濃度又は濃度範囲（%）	化学特性	CAS番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
噴射物					
アセフェート	0.19	$C_4H_{10}NO_3PS$	30560-19-1	―	2-(3)-168
ＭＥＰ	0.17	$C_9H_{12}NO_5PS$	122-14-5	(3)-2616	4-(9)-232
トリホリン	0.15	$C_{10}H_{14}Cl_6N_4O_2$	26644-46-2	対象外	8-(2)-510
メチルプロピレングリコール	＞25.0	$C_4H_{10}O_2$	107-98-2	(2)-404	既存
イソプロピルアルコール	＞25.0	C_3H_8O	67-63-0	(2)-207	既存
その他	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
噴射剤					
ジメチルエーテル	＞40.0	C_2H_6O	115-10-6	(2)-360	既存

４．応急措置

吸入した場合　被曝者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。速やかに医師の診断を受ける。呼吸が弱い場合は酸素吸入を行う。呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合は頭を横に向ける。意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

皮膚に付着した場合　汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。凍傷を起こすお

それがあるため、外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合　一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。清浄な水で最低15分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合　エアゾールを直接経口摂取することは想定されないが、本剤の噴射を受けた食品等を経口摂取した場合、口の中をよく洗浄する。無理に吐かせない。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。直ちに医師の診断を受ける。呼吸困難などの徴候が現れた場合は、酸素吸入を行う。呼吸していて、嘔吐がある場合は頭を横に向ける。意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

最も重要な兆候及び症状　呼吸器への刺激、眠気およびめまい

応急措置をする者の保護　救助者が製品に触れないよう、手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

５．火災時の措置

消火剤　泡、粉末消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤　棒状水

火災時の特有の危険有害性　燃焼または高温により有害ガス（一酸化炭素など）を発生する。

特有の消火方法　消火は泡消火剤を使用して一挙に消火する。
注水は火面を拡大するので消火には用いない。周囲への延焼防止や、容器等の冷却用にのみ使用する。
初期消火には泡、二酸化炭素、粉末消火設備、器具を用いる。
消火作業は風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
容器周辺が火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。
消火に際し、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう、適切な処置をする。

消火を行う者の保護　消火作業は風上から行い、適切な保護具（防火服、耐熱服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
火気厳禁。
処理が終わるまで換気を十分におこなう。
作業の際には、製品が皮膚に付着したり、飛沫が眼に入ったりしないように適切な保護具を着用する。風下の人を退避させ、風上から作業する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
閉鎖空間に漏洩した場合は、着火源を遠ざけ、立ち入る前に充分に換気する。

環境に対する注意事項
本製品には光化学オキシダントの原因となる成分が含まれているため、本剤の使用目的以外には大気中への放出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法・機材
可能であれば、安全栓を締めて漏出源を遮断し、漏れをとめる。

二次災害の防止策
付近の着火源となるものを取り除く。
着火した場合に備えて消火剤を用意する。
屋内の場合、気中濃度が危険な濃度に達しないよう、防爆型換気扇などを用いて適切に換気する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
『８．暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
容器を密閉しておく。

局所排気・全体換気
『８．暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気または全体換気を行なう。

注意事項
火気厳禁！ストーブなどの暖房機器や熱、火花、裸火、高温のものなどの着火源のあるところでは絶対に使用しない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
使用目的以外には環境への放出を避ける。
この製品を使用する場合は、飲食または喫煙しない。
人体やペット、食品、食器、調理器具などに向けて噴射しない。

安全取扱い注意事項
エアゾール、ガス、蒸気を吸入しない。
暴露の恐れがある場合、耐熱手袋、保護衣類および保護眼鏡または保護面を着用する。指定された個人用保護具がある場合にはそれを使用する。
取扱い後に手、顔などをよく洗いうがいをする。
屋内には汚染された保護具を持ち込んではならない。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。

保管

技術的対策
火気厳禁！

揮発性があるので、スプレー缶は換気の良い涼しい場所に施錠して保管する。
直射日光を避け、保管場所を５０℃以下に保つ。
貯蔵設備には静電気対策を施し、容器の帯電を防止する。

適切な保管条件　５０℃以下の換気のよい場所
安全な容器包装材料　耐火性密閉容器

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　閉鎖された場所で使用する場合や大量に使用する場合は換気設備を設置する。
取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設置する。

管理濃度　[イソプロピルアルコール] 200ppm [1)]

許容濃度　：
日本産業衛生学会　[イソプロピルアルコール]　TLV-TWA：100ppm(980 mg/m^3) [2)]
ACGIH　[メチルプロピレングリコール]
TLV-TWA：100ppm　STEL:150ppm（1992）[3)]
[イソプロピルアルコール]
TLV-TWA：200ppm　STEL:400ppm（2001）[3)]

保護具
呼吸器の保護具　必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク
手の保護具　化学防護手袋
目の保護具　保護めがねまたは保護面
皮膚及び身体の保護具　不浸透性保護前掛け、保護服（長袖作業衣）、保護長靴

適切な衛生対策　ガス、蒸気、スプレーを吸入しない。
眼、皮膚、衣類に付けない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
休憩前、作業終了時の手洗いを徹底する。
この製品を使用する時に、飲食および喫煙をしない。

９．物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）　エアゾール [4)]
臭い（臭いの閾値）　エーテル臭 [4)]
ｐＨ　測定できない[4)]

融点／凝固点　データなし
沸点、初留点と沸騰範囲　データなし
引火点　ジメチルエーテル：-41.1℃ [5)]
噴射物：16.9℃（タグ密閉式）[4)]

自然発火温度（発火点）	データなし
燃焼性（固体、ガス）	ジメチルエーテル：きわめて引火爆発しやすい。[6]
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	
**　下限**	ジメチルエーテル：3.4 vol%[5]
**　上限**	ジメチルエーテル：27 vol%[5]
爆発特性	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気＝１）	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解性	
**　水**	データなし
**　有機溶剤**	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度（粘性率／動粘性率）	噴射物：1.6cSt[4]

１０．安定性及び反応性

安定性

圧力容器内では安定である。
容器から噴射後、ジメチルエーテルは気化して拡散する。メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコールは容易に蒸発する。

危険有害反応可能性

ジメチルエーテルガスは空気と混合し、火気等の着火源があればきわめて容易に引火爆発する危険がある。[7]
ジメチルエーテルガスは酸化剤と反応する。[7]
メチルプロピレングリコールは酸、酸化性化合物と混合すると発熱することがある。[8]
イソプロピルアルコールは強力な酸化剤と反応する。[9]

避けるべき条件

高温、火気、静電気

混触危険物質

酸化剤、酸[9]

危険有害な分解生成物

燃焼により有毒ガス（一酸化炭素など）を発生する。

その他

ジメチルエーテルガスは低く遠くへ流れ、危険範囲が広がり、風下の遠い火源からも引火することがある。
ジメチルエーテルガスは空気より重く、低い場所に滞留して酸素不足を引き起こす。

１１．有害性情報

本製品の有害性に関する情報はないが、噴射物または各成分について以下の情報がある。

急性毒性

経口　[噴射物][4]　ＬＤ$_{50}$　＞4340mg/kg（ラット雄）
ＬＤ$_{50}$　＞5470mg/kg（ラット雌）

経皮　[噴射物][4]　ＬＤ$_{50}$　＞870mg/kg（ラット雌雄）

吸入（ガス）　[ジメチルエーテル][6]　LC$_{50}$　(4時間)　164000 ppm（ラット）

吸入（蒸気）　[メチルプロピレングリコール][13]　ＬC$_{50}$(4時間)＞6mg/L（ラット）
[イソプロピルアルコール][14]　ＬＣ$_{50}$(4時間)　29512ppm（ラット）

吸入（粉塵、ミスト）　[アセフェート][10]　ＬＣ$_{50}$（4時間）　＞15mg/Ｌ（ウサギ）
[トリホリン][12]　粉塵暴露　ＬＣ$_{50}$　（暴露時間不明）
＞5120mg/kg（ラット）

皮膚腐食性/刺激性　[アセフェート][10]　ごく軽度の刺激性あり（ウサギ）
一次刺激スコア：0.1
[ＭＥＰ][11]　皮膚刺激性なし（ウサギ）
[トリホリン][12]　皮膚刺激性なし（ウサギ）
[メチルプロピレングリコール][13]
ごく軽度の刺激性あり（ウサギ）
[イソプロピルアルコール][14]　刺激性なし（ヒト）
刺激性なしまたは軽度の刺激性（ウサギ）

眼に対する重篤な損傷性／刺激性　[アセフェート][10]　刺激性あり（ウサギ）
[ＭＥＰ][11]　軽度の刺激性有り（ウサギ）
[メチルプロピレングリコール][13]　高濃度蒸気暴露により強い眼刺激性あり　（ヒト）
[イソプロピルアルコール][14]
軽度から重度の刺激性あり　（ウサギ）

呼吸器感作性　[ＭＥＰ][11]　呼吸器感作性なし　（モルモット）

皮膚感作性　[アセフェート][10]　皮膚感作性なし　（モルモット、Maximization test）
[ＭＥＰ][11]　皮膚感作性なし（モルモット）
[トリホリン][12]　皮膚感作性なし（モルモット）
[メチルプロピレングリコール][13]　皮膚感作性なし（モルモット、Modified Maguire test）
[イソプロピルアルコール][14]　皮膚感作性なし（モルモット、Buehler法）

生殖細胞変異原性（変異原性）

[アセフェート][10)]　小核試験（マウス骨髄）：陰性
In vivo突然変異試験（マウス体細胞）：陰性
[ＭＥＰ][11)]　優性致死試験（ラット、マウス）：陰性
in vivo染色体異常試験（ほ乳類体細胞）：陰性
小核試験（ほ乳類骨髄）：陰性
[メチルプロピレングリコール][13)]
小核試験（マウス骨髄）：陰性
[イソプロピルアルコール][14)]　小核試験（マウス）：陰性

発がん性

[アセフェート][10)]　マウス：発がん性なし（104週間経口投与、最大耐量以下）
ラット：発がん性なし（28ヵ月間経口反復投与）
[ＭＥＰ][11)]　マウス：発がん性なし
ラット：発がん性なし
[メチルプロピレングリコール][13)]
ラット、マウス：発がん性なし
[イソプロピルアルコール][14)]　ＩＡＲＣ：グループ３
ＡＣＧＩＨ：Ａ４

生殖毒性

[アセフェート][10)]　ラット３世代繁殖試験：生殖能低下（交尾率低下、平均産子数20-25%低下、仔の生存率低下、離乳までの生存率の低下）あり。
ラット交配前投与試験：雄に繁殖力の低下、精巣重量減少
ラット・ウサギ器官形成期投与試験：催奇形性なし
[ＭＥＰ][11)]　ラット3世代繁殖試験：生殖機能、生殖能力、児の発生に対する悪影響なし
ラット・マウス妊娠期間投与試験：生殖機能、生殖能力、児の発生に対する悪影響なし
[メチルプロピレングリコール][13)]　ラット繁殖試験：影響なし
ラット・マウス・ウサギ催奇形性試験：催奇形性なし
[イソプロピルアルコール][14)]　ラット２世代繁殖試験：繁殖能および出生仔の発育に影響なし。
ラット発育毒性・催奇形性試験：催奇形性なし。
親動物に毒性を示す用量で生殖毒性あり（妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等）
[ジメチルエーテル][6)]　ラット交配前・胎児器官形成期吸入暴露試験:妊娠への影響・胎児の発生異常なし

特定標的臓器毒性（単回暴露）

[アセフェート][10)]　ラット単回経口投与（125mg/kg以上）：振戦、歩行異常、脳コリンエステラーゼ活性阻害 [66-85%]
ラット単回経口投与（100mg/kg以上）：振戦、運動失調、筋緊張低下、低体温、コリンエステラーゼ活性阻害あり　[特定標的臓器：神経系]
[ＭＥＰ][11)]　ラット・イヌ経口・経皮・吸入暴露：神経系への影響あり。血漿・血球・脳コリンエステラーゼ活性阻害あり。[特定標的臓器：神経系]
[メチルプロピレングリコール][13)]　ラット・マウス吸入暴露、ウサギ経皮投与：一過性起き上がり反射および外部刺激に対する反射の消失。[麻酔作用]

[イソプロピルアルコール][14)]　ラット吸入暴露：活動性低下。
ヒト経口摂取：消化管への刺激性、血圧、体温等の低下、中枢神経症状、腎障害。
[標的臓器：中枢神経系、腎臓、全身毒性]
ヒト吸入暴露：鼻、喉への刺激性あり。[気道刺激性]
[ジメチルエーテル][6)]　ウサギ・イヌ吸入暴露：高濃度で麻酔作用、血圧低下、心拍数減少。
ヒト吸入暴露：高濃度で意識喪失、視野喪失、痛覚喪失。
[麻酔作用]

特定標的臓器毒性（反復暴露）

[アセフェート][10)]　ラット49日間反復経口投与(89.7mg/kg/day(90日投与換算：49mg/kg/day))：臨床的影響・神経行動作用なし。脳アセチルコリンエステラーゼ活性阻害（阻害率：80%）。
ラット４週間反復吸入暴露（96mg/m3（90日投与換算：0.022mg/L）：振戦、脳のコリンエステラーゼ活性阻害あり［回復期間14週後に83-84%阻害］。血液パラメーター、剖検所見および臓器重量には影響なし。
ラット13週間反復経口投与（58mg/kg/day）：臨床的兆候、機能テストとも投与の影響なし。
[ＭＥＰ][11)]　ラット・ウサギ6ヵ月間混餌投与：血漿・血球・脳コリンエステラーゼ活性阻害あり。
ラット・マウス4週間吸入暴露：血漿・血球・脳コリンエステラーゼ活性阻害あり。
[メチルプロピレングリコール][13)]　ラット3カ月間飲水投与：影響なし
イヌ14週間飲水投与：影響なし
ラット・ウサギ3カ月間経皮投与：影響なし
ラット3カ月間吸入暴露：影響なし
マウス・ウサギ・モルモット・サル 3または6カ月間反復吸入暴露：影響なし
[イソプロピルアルコール][14)]　ラット86日間または4カ月間吸入暴露：血管、肝臓、脾臓に影響あり。
[標的臓器：血管、肝臓、脾臓]
[ジメチルエーテル][6)]　ラット・ハムスター13週間反復吸入暴露：影響なし。　NOAEL　＞5000ppm。
[標的臓器：該当なし]

吸引性呼吸器有害性

[イソプロピルアルコール][14)]　ラット気管内投与：有害性有り（24時間以内の心肺停止による死亡）。（動粘性率：1.6前後）

１２．環境影響情報

各成分について以下の情報がある。

生態毒性

魚毒性

[アセフェート][10)]　LC_{50}（96hrs）1.3mg/L（ニジマス）
[ＭＥＰ][11)]　LC_{50}（96hrs）3.55ppm（コイ）
[イソプロピルアルコール][14)]
LC_{50}（96hrs）＞100mg/Ｌ（ヒメダカ）

[ジメチルエーテル] [6)]
LC_{50}（96時間）＞4000 mg/L （グッピー）

その他

[ＭＥＰ] [11)]　ミジンコ　EC_{50}（48hrs）　0.0045ppm
藻類　EC_{50}（72hrs）　1.3ppm
[メチルプロピレングリコール] [13)]
オオミジンコ：EC_{50}（48hrs）＞500mg/L
[ジメチルエーテル] [6)]
オオミジンコ　EC_{50}（96時間）＞4000 mg/L

残留性／分解性　[アセフェート] [10)]　急速分解性なし（28日後の分解度：6%）

生体蓄積性　データなし

土壌中の移動性　データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに処理を委託する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知する。
容器内の残余は、火気のない屋外で噴射音が出なくなるまで内容物を完全に排出する。

汚染容器及び包装　空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス２.１　エアゾール
国連番号	１９５０
品名（国連輸送品名）	エアゾール
容器等級	該当なし
海洋汚染物質	イソプロピルアルコール

国内規制

陸上規制情報	高圧ガス保安法、消防法および道路法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件　輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
火気厳禁！
直射日光を避け、３０℃以下で輸送する。
高圧ガス保安法、消防法および道路法、船舶安全法、航空法の危険物に該当するため、同法の規定に従った容器、積載方法に従って輸送する。
移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番号　126

１５．適用法令

農薬取締法	第21811号 [4)]
消防法	［噴射物］危険物第４類引火性液体第１石油類 水溶性
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第１の１６の項（２）[アセフェート、ＭＥＰ、トリホリン、メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール、ジメチルエーテル]
	輸出貿易管理令別表第２（輸出の承認）[ＭＥＰ、メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール]
	輸入貿易管理令第４条第１項第２号輸入承認品目「２の２号承認」[ＭＥＰ、メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール]
化審法	第２種監視化学物質（法第２条第５項）[ＭＥＰ] 第３種監視化学物質（法第２条第６項）[ＭＥＰ]
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）[メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール] 危険物・引火性の物（施行令別表第１第４号）[メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール] 危険物・可燃性のガス（施行令別表第１第５号）[ジメチルエーテル]
高圧ガス保安法	液化ガス（法第２条３）[ジメチルエーテル] 可燃性ガス（一般高圧ガス保安規則第２条１）[ジメチルエーテル]
大気汚染防止法	揮発性有機化合物（法第２条第４項）（環境省から都道府県への通達）[メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール] 有害大気汚染物質（法第２条第１３項、環境庁通知）[ジメチルエーテル]
港則法	危険物・高圧ガス（法第２１条２、則第１２条、昭和５４告示５４７別表二イ）[ジメチルエーテル]
船舶安全法	高圧ガス（危規則第３条危険物告示別表第１）[ジメチルエーテル]
航空法	高圧ガス（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）[ジメチルエーテル]
道路法	車両の通行の制限（施行令第１９条の１３、（独）日本高速道

	路保有・債務返済機構公示第７号・別表第２）[メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール、ジメチルエーテル]
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	廃棄物の有害成分･法第２条第１項第１号イに規定するもの(平５三省告示１号[ＭＥＰ、メチルプロピレングリコール、イソプロピルアルコール]

１６．その他の情報

参考文献

1) 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター；作業環境評価基準（2010）
2) 日本産業衛生学会　許容濃度勧告；日本産業衛生学会誌 52巻,221-247(2010)
3) ACGIH ； "TLVs and BELs "（2010）
4) 住友化学園芸株式会社；社内情報
5) 住友精化株式会社；製品安全データシート ジメチルエーテル（2005.8.25）
6) NITE；　GHS分類結果－ID20A2102 ジメチルエーテル(2008.3.27)
7) JAISH；製品安全データシート（2009.3.30）
8) 日本乳化剤株式会社；製品安全データシート メチルプロピレングリコール（2009.9.30）
9) 株式会社トクヤマ；製品安全データシート イソプロピルアルコール　（2004.11.10）
10) （独）製品評価技術基盤機構；GHS分類結果　ID20A2270 アセフェート　（2009.03.27）
11) 住友化学株式会社；製品安全データシート スミチオン原体（2010.3.23）
12) 住友商事株式会社；製品安全データシート トリホリン原体（2010.12.15）
13) （独）製品評価技術基盤機構；GHS分類結果　ID930 ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ（2006.3.31）
14) （独）製品評価技術基盤機構；GHS分類結果　ID928 イソプロピルアルコール（2006.3.23）

記載内容は現時点で入手できる資料､情報､データにもとづいて作成しておりますが､含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

改訂履歴　　**2007年11月1日作成**
2011年3月31日改訂
2011年7月20日改訂
2014年7月23日改訂
2020年6月11日改訂

尚、一部有料とはなりますが、中毒事故等の対応に際しましては、下記公益財団法人日本中毒情報センター［中毒110番］にお問い合わせ頂けば、有効な情報を提供頂くことができます。
中毒の緊急問い合わせ先：公益財団法人日本中毒情報センター(中毒110番)

	一般市民専用電話 (問い合わせ料無料)	医療機関専用電話 (一件2,000円)
大　阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9～21時対応)	029-852-9999	029-851-9999